# 教えて　国際政策WG

## Q1. メンバーは何名くらいですか？

13名です。下川原理事長に担当理事としてサポート頂いています。

## Q2. 国際政策WGはどんなことをやっているんですか？

特許に関する国際会合（3極、5極、B+会合）に参加し、日本の産業界を代表した提言・意見発信を行っています。

## Q3. 3極、5極って？

・3極特許庁は、日本特許庁（JPO）、欧州特許庁（EPO）、米国特許商標庁（USPTO）の三庁から構成され、1983年から継続する重要な協力の枠組みです。
・5極特許庁（IP5）は、2007年に創設した枠組みで、日本国特許庁（JPO）、米国特許商標庁（USPTO）、欧州特許庁（EPO）、中国国家知識産権局（CNIPA）、韓国特許庁（KIPO）の5庁から構成されます。これらの5極特許庁への特許出願件数は、世界の特許出願件数の8割以上を占めています。5極特許庁（IP5）の枠組みが実務的な議論を行う場であるのに対して、3極の枠組みは政策的な議論を行う場と位置付けられています。

## Q4. 5極に参加しているユーザ団体は？

日本からはJIPA、米国からはIPO＆AIPLA、欧州からはBusiness Europe（BE）、中国からはPPAC、韓国からはKINPAがユーザ団体の代表として参加しています。　※3極はJIPA、IPO＆AIPLA、BE

## Q5. WGのモチベーションは？

日、米、欧、中、韓の各国ユーザの間で、将来の知財システムのあるべき姿について語り合い、ワンボイスでユーザ提言を発信し、より良い知財システムの構築に向けて貢献できることです。

＜3極、B＋会合＞

## 知財でSDGs#4（教育）に貢献！

3極特許庁・ユーザ会合が10月4日ドイツミュンヘンEPOにて開催されました。知財が教育に対してどう貢献できるのか、3極特許庁・ユーザ団体それぞれの活動を紹介しました。技術移転に関して、ユーザ団体からR＆Dの成果をビジネス化するまでには、大きなリスクが伴うこと、そのリスクは知財があるからこそ低減できることを説明し、知財は技術移転を阻害するのではなく、技術移転の促進に役立っていることを強調しました。今後も官民協力し、SDGs達成に向けて協力していくこととなりました。

＜JIPA提言・活動紹介＞
・技術移転を進めるには、WIPO GREENを参考に
・若者知財教育として、企業保有特許の活用アイディアを学生視点で検討する等

三極特許庁・ユーザ会合

## 特許法実体調和の取り組み

調和論点
・グレースピリオド
・先使用権
・自己衝突

B+会合では、メンバ庁で行ったユーザの意見収集（三極ユーザの調和案も参照された）の結果がまとめられ、分析等の検討が進められています。また、3極ユーザ間でもグレースピリオド導入を前提とした議論が行われました。今後、B+に協力して制度調和を進めます。

三極ユーザ会合

## 祝EPC50周年！記念式典開催

下川原理事長Vメッセージ

EPO Antonio Campinos長官

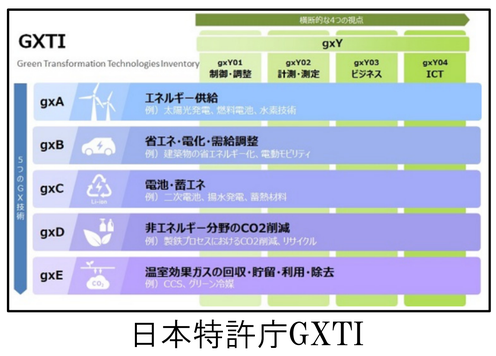
三極特許庁・ユーザ会合の翌日（10月5日）に、EPC50周年式典が開催されました。JIPAからは下川原理事長が参加。ミュンヘン本会場と、ハーグ会場（オランダ国王出席）とウィーン会場（ブルガリア首相出席）とが繋がれ、ハイブリッドで開催されました。
長官挨拶、来賓祝辞、コンテストに参加した子供達の表彰と続き、“Data”という名のAIバーチャルロボの質問（イノベーション・知財の歴史、SDGs関連など）に、EPO職員、発明アワード受賞経験者などが答える形で進み、〆のスピーチの後に、四極長官、JIPAを含む各ユーザ団体のビデオメッセージが流されました。

＜5極、GDTF／ICG＞

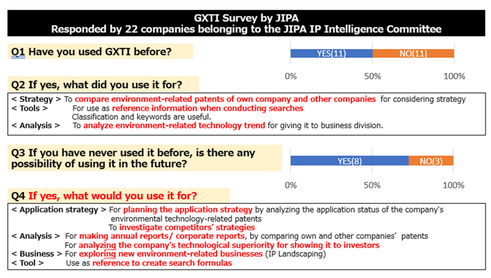
## 気候変動抑制に向けWaikikiに集結！！

ジパタイムズ

昨年6月12日～15日、米国ハワイ州ホノルルにてIP5が開催されました。メインテーマは気候変動抑制で、五極特許庁の取り組みが共有され、JIPAから提言も行いました。また、日本特許庁からは環境関連技術の把握・分析に役立つ特許分類GXTIについて紹介がありました。これに応える形でJIPAからは専門委員会の協力で実現したGXTIの活用状況アンケートの結果について報告し、GXTIへの期待、提案を行いました。



日本特許庁GXTI



JIPAアンケート結果

IP5特許庁・ユーザ会合

＜気候変動抑制に向けたJIPA提言＞
・WIPOグリーン活動のIP5への拡張
・技術とソリューションの橋渡しの必要性
・気候変動関連の賞によるインセンティブ
・特許DBへの受賞履歴の追加

## 技術協力面での議論

技術協力面では、右記載の5つのテーマについて、議論を行いました。JIPAから、電子署名の調和についての提言の説明、図面様式統一に向けた5庁の取り組みに対する謝意と5庁によるカラー図面の出願受け付け許容についての強い期待を表明しました。

・電子署名
・NET/AI
・図面様式統一
・IP5 PJ更新
・IP5 PJ管理

## GDTF/ICG

日本特許庁・JIPAの共同議長体制で会合が開催されました。ドシエ関連ではPJのクローズ条件について議論し、ICGではグローバル譲渡書、図面様式統一について議論しました。

## 5極ユーザワンボイス

IP5会合での5極ユーザからの共同提言、意見発信には、ユーザ団体間の合意形成が不可欠です。左の写真は、同志の韓国ユーザ団体KINPAとの絆の証でもあります。

五極ユーザ会合（JIPA&KINPA）

【広告】 国際政策WGメンバー　緊急募集
知財で社会課題を解決したい方、仕組みを変えたい方、世界で活躍したい方是非！